

地球のために 私たちができる消費のかたち

日時：2022年7月1日（金）14:00～16:00
オンライン開催（Zoom）

参加者：34名

主催：多摩地域の消費者団体交流会実行委員会
消費者団体と東京都との協働による学習会
東京都消費者月間協賛事業

大量生産、大量消費は地球の環境問題にも繋がっていることから「必要な物を必要な量だけ購入する」「プラスチックごみを出さない」「リサイクルショップで購入する」など、新しい消費のかたちを選択する消費者が増えてきています。

今年度は、プラスチックフリーのエコストアを立ち上げた武本さんの講演と、地元で子供服のお譲り会を開催している竹之内さんの報告を聞き、「今、消費者として行動するとしたら何ができる？」をテーマにグループ交流をしました。



司会：村橋 悠さん
東京三弁護士会多摩支部



小浦 道子さん
東京消費者団体連絡センター

開会挨拶

多摩地域の交流会は2012年から毎年開催されており、消費者の視点からテーマを決め、学び交流をしています。ここ数年「マイクロプラスチックの海洋汚染」や「地球温暖化防止のために何ができるか」などをテーマに開催してきました。今年度は、大量生産・大量消費がもたらす環境への影響は、私たち消費者の行動変容によっても変えられると考え、「地球のために私たちができる消費のかたち」をテーマに、学び交流する場として開催いたします。

「海の中から消費を考える」

NPO 法人気候危機対策ネットワーク代表 武本匡弘さん



「気候変動・気候危機・気候正義」

プロダイバーとして約40年、武本さんが撮影してきた水中記録写真から、海洋環境の変化を知ることができました。気候変動によって起こるサンゴの白化現象や、太平洋の島々での海面上昇、地球規模で起きている自然災害による被害など、今、まさに気候危機と言える状況にあります。気候変動の主原因は人間活動が原因の二酸化炭素排出です。作ってもリサイクルしても大量の二酸化炭素を出すプラスチック製品は、作ってしまうと将来の世代のつげになってしまいます。

「エコストア パパラギ」

生活者が社会を変える！をキャッチフレーズに、プラスチックフリーのエコストア・パパラギを開業。現在は8人のワーカーズ（協同組合）で運営しています。エコストアでは、容器や包装をやめての量り売り、消費期限付きバイオ歯ブラシやエコラップなどを共同開発、販売しています。

店舗2階ではネイチャーセミナーや懇話会等も毎月開催。フィールド活動に参加した小学生が始めた、給食でストローを使わないという行動は、様々な手段で情報を拡散した結果、東京都のストローレスのきっかけにもなりました。

まずは生活の中の当たり前のことから疑ってみる、連帯し声を上げ続ける等大切な事は、一人一人が出来る事をしながら社会の空気感を変えることです。



「福 meguru お譲り会」の取り組み報告

ハハmana代表 竹之内あかねさん

「私たちは、今、この活動をしながら楽しんでます！」

ハハmanaは子供がいるママ8人で、「こんなことやりたい」「一人では難しいけど一緒ならできそう」「こんなことあったら楽しそう」と思ったことを、メンバーと話しながら決め活動している団体です。お譲り会はSNSで情報発信し、提供してくれる人も譲ってもらう人も全て無料で行っています。点数制限はしていないのですが残ってしまう物もあるので、昨年の夏はドネーションを行い、海外へ子ども服を寄付しました。

自分たちが楽しく活動していることを発信しながら、少し先の未来にはお譲り会の活動を必要としている次の世代へ繋げていけたらと思っています。



横幕 玲子さん
立川市消費者団体連絡会

閉会挨拶

コロナはスペイン風邪から100年後に起こったパンデミックです。パンデミックの後には、人々の暮らしや社会のシステムに劇的な変化が起きています。今日の分散交流の意見の中には、私たちの親世代が普通に行っていたことが、アフターコロナの新しい暮らし方として出されています。平時には気にもしなかった古き良き習慣や新たな取り組みなど、今後どのような変化が起こるのか見守っていきたいです。